

はじめに

この消防年報は、南魚沼市と湯沢町における令和 2 年中の主要な消防業務と消防現勢について収録し、消防業務について広く理解を求めるとともに、多方面にわたり資料として利用されることを願って編さんしたものであります。

各表は、主に令和 2 年 12 月 31 日現在をもって作成されていますが、これによらない表及び単位については必要に応じ各表の上部に記載してあります。

令和 3 年 3 月

南魚沼市消防本部

目 次

管 内 概 況

管内一目統計	1
南魚沼市消防本部の概要	2
管内図	3
消防のあゆみ	4

庶 務 関 係

1 消防本部機構	1 0
2 消防庁舎の現況	1 1
3 過去 5 か年の消防費決算状況	1 2
4 職員階級別配置状況	1 3
5 職員階級別年齢状況	1 4
6 職員勤続年数状況	1 4
7 職員の特殊技能・その他の資格取得状況（その 1）	1 5
職員の特殊技能・その他の資格取得状況（その 2）	1 6
8 職員研修受講状況	1 7

警 防 関 係

1 火災出動状況	1 8
2 救助出動状況	1 8
3 災害出動状況	1 8
4 現有車両一覧	1 9
5 消防資機材一覧（その 1）	2 0
消防資機材一覧（その 2）	2 1
消防資機材一覧（その 3）	2 2
平成 21 年度 総務省無償貸付「消防団救助資機材」一覧	2 3
平成 24 年度 総務省無償貸付「消防団拠点資機材」一覧	2 4
平成 25 年度 総務省無償貸付「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」一覧	2 5
6 公設水利の現況	2 6
7 耐震性貯水槽（防火水槽）設置状況	2 6
8 消防施設の現況	2 7
9 消防ポンプ自動車等現有状況（消防団）	2 7
1 0 緊急消防援助隊	2 8
1 1 消防相互応援協定等の締結状況	2 9
1 2 消防相互応援協定に基づく活動状況	3 0

予 防 関 係

【火災統計】

1	市町別火災発生状況	3 1
2	火災種別発生件数	3 2
3	曜日別火災発生件数	3 2
4	月別火災発生件数	3 2
5	原因別火災発生件数	3 3
6	時間帯別発生件数	3 3
7	過去 10 か年の原因別火災発生件数	3 4
8	火災発生件数の推移	3 5
	令和 2 年度防火標語・防火ポスター最優秀作品	3 5

【予防統計】

9	市町別防火対象物数・防火対象物立入検査実施状況	3 6
1 0	業態別中高層防火対象物数	3 7
1 1	消防用設備等検査状況	3 8
1 2	建築同意状況	3 9
	(1) 用途別、市町別建築同意件数	3 9
	(2) 建築同意件数の推移	3 9
1 3	市町別中高層防火対象物数	4 0
1 4	南魚沼地域防火協会、参加団体数、会員数の推移	4 0
1 5	危険物施設数	4 1
1 6	危険物施設の許可・検査実施状況	4 1
1 7	危険物製造所等の申請、届出事務処理状況	4 2

救 急 関 係

1	救急業務の出動状況と内容	4 3
2	署別救急出動状況	4 4
	(1) 事故種別出動件数及び搬送人員数	4 4
	(2) 月別出動件数及び搬送人員数	4 5
3	月別事故種別救急活動件数	4 6
4	主な事故種別、傷病程度別（搬送人員）	4 6
5	急病の男女別年齢別搬送人数	4 7
6	市民等が実施した救命手当ての状況	4 7
7	救急隊が実施した除細動及び救急救命士の特定行為	4 8
8	ドクターヘリの要請件数、活動件数及び搬送人数	4 8
9	地域別搬送先状況	4 9
1 0	応急手当普及啓発活動状況	4 9

1 1	救急資機材（その1）	5 0
	救急資機材（その2）	5 1
	救急資機材（その3）新型インフルエンザ等対応資機材	5 1

通 信 指 令 ・ 気 象 関 係

1	通信網図	5 2
2	無線局及び消防車両車載無線機配置状況	5 3
3	災害種別受信件数	5 4
4	高機能指令センター	5 5
5	気象観測装置	5 6
6	気象予報発令件数	5 7
7	過去3か年の月別降水量	5 8
8	過去3か年の月別平均気温	5 8
9	過去3か年の月別積雪深	5 9

消 防 団 関 係

1	南魚沼市消防団組織図	6 0
2	消防団の主な業務	6 1
	南魚沼市消防団協力事業所表示制度認定数	6 1
3	消防団員の編成状況	6 2
4	年代別、階級別編成状況	6 3
5	退職・新入団員数	6 4
6	南魚沼市消防団員報酬・報償額	6 4
7	消防団の主な受章歴	6 5
8	消防団歴代消防団長	6 6

管内一目統計

令和2年12月31日現在

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	941.84 km ²	63,394 人	67.3 人/km ²	23,935 世帯
	南魚沼市 584.55 km ² 湯沢町 357.29 km ²	南魚沼市 55,354 人 湯沢町 8,040 人	南魚沼市 94.7 人/km ² 湯沢町 22.5 人/km ²	南魚沼市 20,047 世帯 湯沢町 3,888 世帯

決算・機構・人事	消防決算	消防本部・署・職員		消防団員数
	◇令和元年度決算額 412,441 千円 住民一人当たり 6,443 円 (R2.3.31 現在人口)	◇機 構 消防本部 1 本部 消 防 署 2 署 分 署 1 分署	◇職員数 条例定数 110 人 実 員 108 人	◇南魚沼市消防団 条例定数 2,170 人 実 員 2,156 人 (内、女性団員 32 人)

機械・施設	消防車両等 (車両台数 27 台)		デジタル無線局	水 利
	ポンプ車 3 台 水槽付ポンプ車 2 台 水 槽 車 1 台 化 学 車 1 台 は し ご 車 1 台 救助工作車 1 台	指 揮 車 2 台 指 令 車 3 台 救 急 車 5 台 資機材搬送車 3 台 非常用救急車 1 台 その他の車両 4 台	◇デジタル無線局数 基地局 4 か所 車載陸上移動局 22 台 携帯陸上移動局 23 台 南魚沼市消防団 149 台 湯沢町消防団 44 台	◇消火栓 南魚沼市 2,551 基 湯 沢 町 401 基 ◇防火水槽 南魚沼市 488 基 湯 沢 町 74 基

火災・救急	火 災	主な出火原因	救 急	主な事故種別
	◇火災件数 18 件 20 日に1件の割合で発生 ◇損害額計 45,198 千円	① 3 件 電気器具 ② 1 件 火入れ・たき火 1 件 漏電	◇出動件数 2,881 件 ◇搬送人員 2,720 人 1 日当たり 7.8 件 の割合で出動	① 急病 1,603 件 ② 一般負傷 569 件 ③ 転院搬送 421 件 ④ 交通事故 164 件

予 防	防火対象物	危険物施設	防火対象物定期点検報告制度
	消防用設備等設置対象物数 4,338 防火管理者選任対象物数 1,307	貯蔵所 643 取扱所 214	定期点検防火対象物数 156 特例認定対象物数 63

南魚沼市消防本部の概要

南魚沼地域における消防体制の常備化は「消防本部及び消防署を設置しなければならない市町村を定める政令」に基づいて、昭和44年4月に「六日町・塩沢町消防事務組合」が発足し、4名の職員で業務開始に向け準備が行われた。

翌、昭和45年1月、塩沢町竹俣地内に魚沼消防本部庁舎が完成し、消防吏員25名体制で消防業務を開始した。

昭和47年4月には湯沢町と大和町が加入し「魚沼消防事務組合」に改称する。同年10月、湯沢町及び大和町に分署庁舎が完成し消防業務を開始した。

昭和50年6月1日、「南魚沼郡広域事務組合」と合併する（当時の消防職員数64名）。

平成13年3月、南魚沼郡広域事務組合を解散し「南魚沼郡広域連合」を設立、平成16年11月には「南魚沼地域広域連合」に名称変更を行った。

「平成の大合併」の時代を迎え、平成16年11月1日六日町と大和町が合併し「南魚沼市」が誕生した。平成17年10月1日には南魚沼市が塩沢町を編入合併する形で新生「南魚沼市」となった。

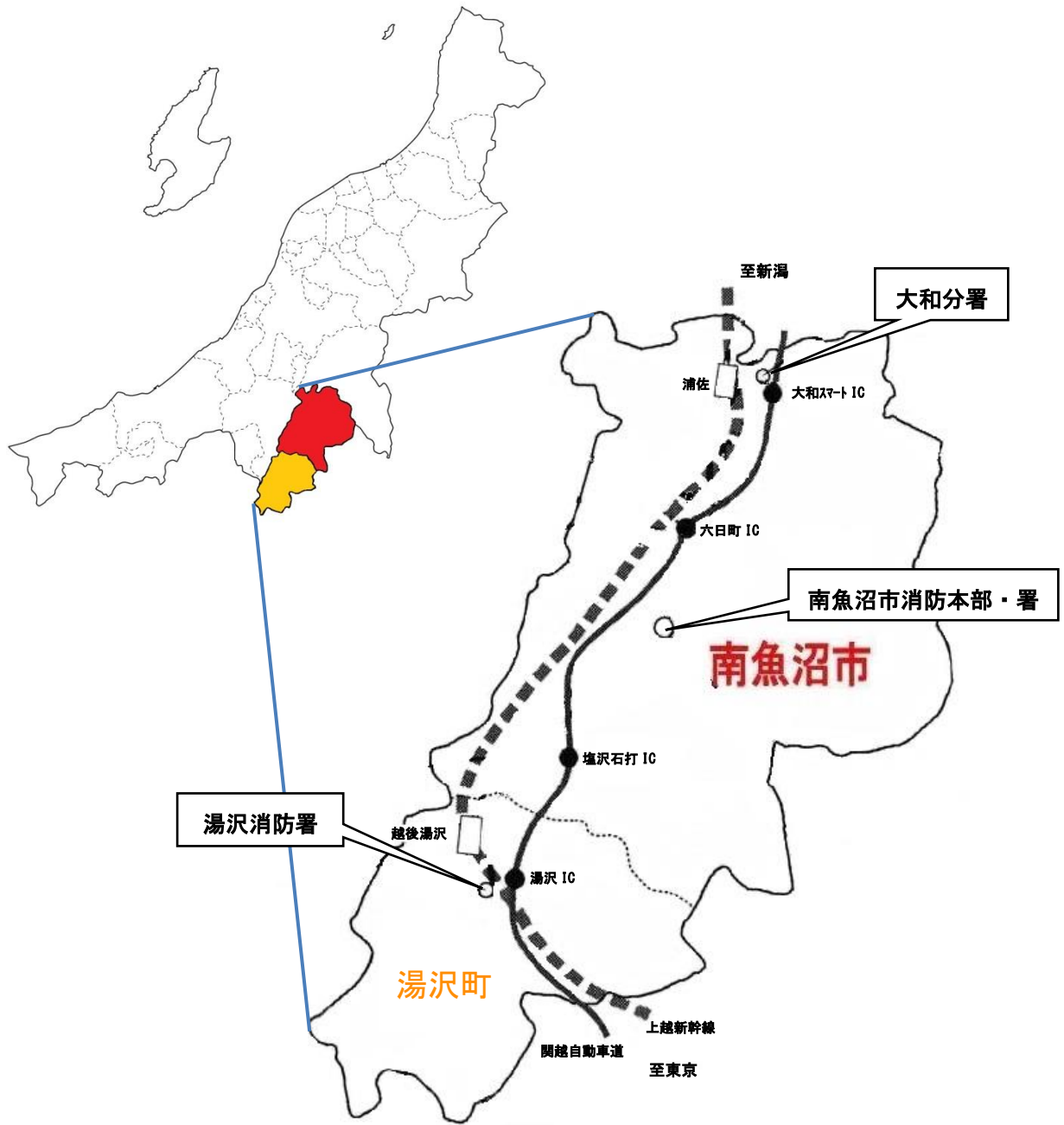
常備消防組織は市制施行の流れを受け、平成18年3月31日南魚沼地域広域連合の解散を経て、同年4月1日に「南魚沼市消防本部」として市の組織となり、湯沢分署を湯沢消防署に格上げした。湯沢町からは消防本部及び消防署に関する事務の委託を受けている。

現在の南魚沼市消防本部は、南魚沼市及び湯沢町の一市一町を管轄し1消防本部、2署1分署、職員108名（うち、女性消防吏員2名）体制で地域住民の安全、安心を守るため消防業務を行っている。

過去に発生した特異的な災害としては、昭和52年7月に上越新幹線湯沢北工区で発生したトンネル火災、昭和63年3月にJR上越線湯沢町地内で発生した「アルカディア号」の列車火災、平成24年5月には建設中の国道253号八箇峠トンネル内爆発事故などがある。

近年は、大きな災害は発生していないものの登山者による山岳遭難事案が多発、冬期にはバックカントリースキーでの遭難事案も発生し、関係機関と連携しながら年間を通して山岳救助事案に対応している。

管内図



【 あ ゆ み 】

昭和44年	4月 1日	六日町・塩沢町消防事務組合発足（職員4名）
	8月 7日	塩沢町立舞子小学校火災
	12月	消防庁舎完成（第1期）
昭和45年	1月 1日	消防署発足・業務開始（職員署長以下25名）
	3月	A級救急車導入
	8月	民間医療機関よりB級救急車が寄贈される
	12月	水槽付消防ポンプ自動車導入
昭和46年	7月 26日	県立六日町高校火災
	10月 1日	中部消防応援協定締結
	11月 3日	六日町市街地火災（2棟死者1名）
昭和47年	4月 1日	湯沢町・大和町が加入し組合名称を魚沼消防事務組合に改称
	10月 1日	湯沢町・大和町に分署庁舎完成 業務開始 （職員16名を採用・両分署に消防ポンプ自動車・救急車を配置）
昭和48年	7月	消防審議会発足
	9月 29日	中部消防応援協定会議開催（六日町）
	10月 30日	スノーケル車（16m級）本署に配置
昭和49年	1月	消防本部・署庁舎増築（第2期）
	2月 18日	ホテル火災（六日町大字六日町地内）
	4月 1日	南魚沼郡休日救急外科在宅当番制開始
	10月 20日	新潟県総合防災訓練を六日町で開催
昭和50年	1月 20日	プロパンガス爆発事故（塩沢町大字関地内） （死者1名、負傷者3名、全壊1戸、損壊11戸）
	4月 1日	消防署 隔日勤務を2交代制から3交代制に移行
昭和51年	2月 3日	泡放射砲を購入し本署に配置
	6月 1日	消防の一部事務組合を解散し、南魚沼郡広域事務組合と合併
	9月 30日	本署配置の水槽車を化学消防車に改造
昭和52年	1月 7日	六日町豪雪対策本部設置
	7月 15日	トンネル火災（上越新幹線湯沢北工区 負傷者40名全員救出）
昭和53年	2月	ドア付消防ポンプ自動車本署に配置
	2月	豪雪対策本部4町に設置（豪雪による死者2名、負傷者10名）
	4月 1日	第1次消防整備計画策定
	8月 20日	第29回新潟県消防大会が六日町で開催
	10月	湯沢分署・大和分署庁舎増築
	10月 5日	プロパンガス爆発（大和町大字浦佐地区） （死者1名、負傷者1名、全壊1戸、損壊11戸）

昭和54年	12月 27日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢地内）
昭和55年	2月 16日	六日町豪雪対策本部設置
	3月 17日	湯沢町に無線サイレン吹鳴装置設置
	3月 28日	救急医療情報システム導入
	7月 13日	南魚沼郡防火協会設立
	11月 27日	消防100年記念消防団全国大会開催（東京）
昭和56年	1月 6日	56豪雪 豪雪対策本部を4町に設置
	2月	消防本部・署庁舎増築（第3期）
	2月 9日	坂戸スキー場で表層雪崩発生（軽傷者1名）
	6月 21日	広域消防10周年記念式典開催
	8月 23日	8.23水害、集中豪雨により六日町の魚野川氾濫被害発生
	10月 1日	防火対象物表示公表制度の施行
	12月 20日	消防庁C型救急指令装置を導入、稼働開始
	昭和57年	4月 1日
5月		南魚沼郡防火協会設立
昭和58年	4月 1日	第2次消防整備計画の策定
	9月	消防ポンプ自動車（CD-II型）更新して本署配置
	12月	工場火災（六日町大字泉新田地内）
昭和59年	2月 8日	59豪雪、豪雪対策本部を4町に設置
	4月 1日	第2次病院群輪番制、休日夜間救急診療開始
	6月 12日	救助訓練塔完成
	9月 15日	新潟県総合防災訓練を湯沢町で開催
昭和60年	2月 17日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢地内）
	12月	化学消防ポンプ自動車を購入し本署に配置
昭和61年	11月 11日	六日町少年婦人防火委員会設立
昭和62年	2月 26日	大型救助工作車を購入し本署に配置
	11月 6日	湯沢分署・大和分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和63年	3月 30日	パノラマ展望列車「アルカディア号」火災（湯沢町）
	4月 1日	第3次消防整備計画の策定
	12月 4日	ビル火災（湯沢町大字湯沢西中地内 死者2名）
平成元年	4月 1日	消防緊急情報システムII型を導入し稼働開始 順次指令装置及び新テレフォンガイドを導入
	9月 1日	管内リゾートマンション特別査察
	～ 7日	
平成2年	1月 1日	新潟県広域消防相互応援協定締結
	3月 20日	指令室に地図検索装置及び自動気象観測装置を導入

	6月 6日	日本消防協会東北支部消防連絡会議開催（湯沢町）
	～ 20日	
平成3年	6月 23日	広域20周年記念行事開催
	12月	湯沢分署 新庁舎移転竣工
平成4年	4月 3日	南魚沼幼少年婦人防火委員会設立
	9月 6日	六日町婦人防火クラブ結成
	12月 16日	湯沢分署に35m級はしご付消防自動車を配置
平成5年	4月	消防相互応援に関する協定（利根沼田広域市町村圏振興整備組合、南魚沼郡広域事務組合）
	4月 1日	第4次消防整備計画策定
	6月 8日	救急車に患者監視装置を装備
	11月	湯沢分署救助訓練塔完成（主塔、副塔）
平成6年	12月 1日	各町消防団に小型動力ポンプ軽積載車を貸与
	12月 15日	大和分署新庁舎移転竣工
平成7年	4月 1日	新潟県消防防災ヘリコプター運用開始 （防災ヘリコプター応援協定締結）
	9月 1日	塩沢町婦人防火クラブ結成
	9月 1日	大和分署にヘリコプター給油施設設置
	11月 29日	本署消防車庫棟新築
平成8年	2月	新潟県情報通信ネットワーク衛星通信サービス開始 （本署庁舎屋上衛星端末局アンテナ設置） 湯沢分署に消防ポンプ自動車を購入し配置
	4月 1日	南魚沼郡山岳遭難防止対策協議会へ加入
	5月 31日	放射能防護服、放射能測定器配備
	12月 7日	蒲原沢土石流災害の捜索に応援出場（第1次隊）
	～ 9日	
	12月 12日	同上（第5次隊）
	～ 14日	
	12月 20日	本署に25m級はしご車を配置
平成9年	9月 11日	湯沢分署に救急車を増車して2台体制とする
平成10年	4月 1日	第5次消防整備計画策定
	4月 1日	県立六日町病院に「心電図伝送受信装置」を設置
	10月 28日	携帯電話から119番通報運用開始
平成11年	1月 20日	本署に小型動力ポンプ付水槽車を新規配置
平成12年	2月 4日	湯沢分署に高規格救急車を導入配備
	4月 1日	関越トンネル内救急業務を日本道路公団より引き継ぐ

平成13年	1月 1日	本署非常用自家発電設備を設置
	3月 19日	南魚沼郡広域事務組合を解散し、南魚沼郡広域連合を設立
	8月	六日町欠ノ上地内に新潟県消防防災ヘリコプター緊急離着陸場を設置
	12月 25日	塩沢町消防無線サイレン新設
平成14年	4月 1日	南魚沼メディカルコントロール協議会設立
	11月 25日	大和町婦人防火クラブ結成
平成15年	4月 1日	第6次消防整備計画策定
	8月 24日	第54回新潟県消防大会を湯沢町で開催
平成16年	4月 27日	全国消防長会東北支部総会開催（湯沢町）
	7月 13日	新潟・福島豪雨（7.13水害）13～15日災害応援
	10月 23日	新潟県中越地震 25日～31日災害派遣
	11月 1日	六日町、大和町合併し南魚沼市となる 南魚沼郡広域連合を南魚沼地域広域連合に名称変更
平成17年	4月 1日	緊急消防援助隊登録（消火隊・救助隊・救急隊各1隊）
	10月 1日	南魚沼市と塩沢町が合併
	10月 25日	携帯119受信装置整備運用開始
平成18年	1月 6日	平成18年豪雪 南魚沼市、湯沢町に豪雪災害救助法適用
	4月 1日	南魚沼地域広域連合を解散、南魚沼市消防本部となる。 湯沢分署を湯沢消防署に格上げ
	11月 28日	大和分署、高規格救急車へ更新
平成19年	4月 1日	六日町、大和、塩沢の3地区の消防団が合併し、南魚沼市消防団1 団体制となる
	7月 16日	新潟県中越沖地震 16日～26日災害応援
	9月 6日	北越急行（株）との合同訓練 参加人員75名
	～ 7日	
	10月 2日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練 参加人数200名
平成20年	3月 7日	自治体消防60周年記念式典（日本武道館）において、南魚沼市消防団塩沢方面隊）日本消防協会長特別表彰「まとい」受章
	8月 29日	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）に初出場（引揚救助）
	10月 23日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練（参加者240名）
	11月 28日	社団法人日本損害保険協会から高規格救急車を寄贈 本署、高規格救急車2台体制となる
	12月 22日	湯沢署、指揮隊車を配置
平成21年	4月 9日	新潟県消防長会春季総会（南魚沼市）
	～ 10日	

	8月 20日	第38回全国消防救助技術大会（横浜市）にロープブリッジ救出とロープブリッジ渡過が出場し、2種目入賞
	10月 16日	中部消防応援協定協議会開催（南魚沼市）
平成22年	8月 27日	第39回全国消防救助技術大会（京都）に引揚救助が出場し、入賞
	9月 3日	北越急行（株）との合同訓練 参加人員21名
	11月 13日	南魚沼市・湯沢町危機管理フォーラム2010開催
平成23年	1月 31日	平成23年豪雪 南魚沼市に豪雪災害救助法適用
	3月 11日	東日本大震災発生
	3月 14日	緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ出動
	～5月 10日	（延べ派遣人員276名）
	7月 27日	新潟・福島豪雨災害発生 消防団員延べ4400名出動
	～ 29日	
	9月 1日	消防本部新庁舎供用開始
平成24年	1月 30日	湯沢町に豪雪対策本部設置
	1月 31日	南魚沼市に豪雪対策本部設置
	2月 3日	南魚沼市に豪雪災害救助法適用
	5月 24日	国道253号八箇峠トンネル内爆発事故発生 新潟県広域消防相互応援協定により県下14消防本部から48隊 233名の応援を受ける
	10月 30日	新潟県ドクターヘリ運用開始
平成25年	2月 22日	南魚沼市に豪雪対策本部設置 六日町地域、大和地域に豪雪災害救助法適用
	2月 24日	塩沢地域に新潟県災害救助条例適用
	4月 1日	南魚沼市消防団再編により大和方面隊が新体制となる （5分団45部から4分団19部へ）
平成26年	3月 31日	消防本部訓練塔竣工
	4月 1日	南魚沼市消防団再編により六日町方面隊（4分団53部から26部） 塩沢方面隊（4分団50部から27部へ）が新体制となり再編完了
	4月 1日	南魚沼市消防団に女性部設立
	10月 13日	南魚沼市消防団女性部発足式
平成27年	6月 1日	新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院開院
	8月 29日	第44回全国消防救助技術大会（神戸）に引揚救助が出場し、入賞
	11月 1日	市立南魚沼市民病院開院
平成28年	4月 1日	消防救急デジタル無線の整備が完了し運用開始
	8月 24日	第45回全国消防救助技術大会（松山市）にロープブリッジ救出に 出場し、入賞

	12月 13日	湯沢消防署配備の35m級はしご車を老朽化により廃車 南魚沼市消防署の25m級はしご車を湯沢消防署に配置換えする
	12月 22日	糸魚川市大規模火災発生 新潟県広域消防応援協定に基づき消火
	～ 23日	隊を派遣
平成29年	3月 29日	新潟県ドクターヘリ2機目運航開始
	8月 23日	第46回消防救助技術大会（宮城県）にロープブリッジ救出が出場
	10月 1日	ハラスメント防止宣言
	12月 13日	南魚沼市消防署 化学消防車を更新
平成30年	11月 14日	湯沢消防署 訓練塔竣工（建て替え）
	12月 26日	南魚沼市消防署 13mブーム付き多目的消防ポンプ自動車配置
平成31年	2月 4日	南魚沼市消防署 救助工作車を更新
令和元年	9月 30日	大和分署 訓練塔竣工
	10月 13日	台風19号災害発生 緊急消防援助隊として長野県長野市へ出動
	～ 15日	
	11月 1日	中部消防応援協定協議会開催（南魚沼市）
	11月 13日	第24回全国女性消防操法大会（横浜市）に南魚沼市消防団女性消防隊出場
	11月 21日	吾妻広域町村圏振興整備組合と消防相互応援協定締結
	12月 24日	南魚沼市消防署 水槽車を更新
令和2年	8月 30日	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、第71回新潟県消防大会中止（南魚沼市）